大凧便り 第246号

大凧会館ＨＰ　https://higashiomi-j.com/oodakokaikan/

ブログ発信中　https://gj-gj.com/users/oodako_museum

編集・発行　世界凧博物館東近江大凧会館　令和8年11月26日発行

〒527-0025　滋賀県東近江市八日市東本町３番５号

TEL：0748-23-0081　FAX：0748-23-1860

ＩＰ：050-8034-1140

開館時間：９時～１７時　休館日：水曜日、第４火曜日、祝日の翌日

平成１８年度から指定管理者制度により（公財）東近江市地域振興事業団が管理しています。

毎月第３日曜日は「家族ふれあいサンデー」　東近江市民の方は、「ふれあいカード」をお持ちの上、家族でお越し下さい

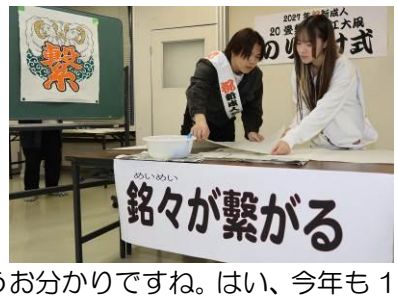
祝 2027 年新成人２０畳敷東近江大凧

はんじもん　「銘々（めいめい）が繋がる」




白田

気温が一桁になり始めさすがにエアコンやストーブをつけないと凍えてしまう季節がやってきました。風邪をひかないように皆さまお気を付けください！



さて、この寒さがやってきたということはあの季節が今年もやってきたということです！皆さんもうお分かりですね。はい、今年も 11 月７日（土）から祝新成人飛揚大凧作りが始まりました！昭和 53 年から行われている恒例行事となっており、数えること今年で 50 回目です。新成人大凧だけでもこれだけの数が揚げられてきたなんて凄いですねぇ。

令和９年（2027 年）の大凧の絵柄は、羊年にちなみ、上部に「二匹の羊」と下部に「繋」の文字が描かれています。大凧の絵柄には新成人の方々へのメッセージが込められており、今年制作する大凧の判じもんは羊の鳴き声「メェ～」から「銘々（めいめい）が繋がる」となっています。新成人ひとりひとりの個性や想いがしっかりと繋がれ、豊かな未来へと羽ばたいてほしいという願いが込められています。また、「繋」の文字の周りに描かれた唐草文様には「繋がった人々の輪が絶えることなく未来へ繁栄していきますように」という想いが込められています。11 月７日（土）には大凧制作最初の儀式である「のりつけ式」が執り行われ、新たに成人を迎える方々も楽し気に参加されていました。２日目は墨打ち・紙巻き、３、４日目は下絵、５日目には墨入れなど今年も順調に制作が進んでおり、記事執筆時点では骨組作業も既に終えています。一つ一つの工程説明は今回割愛しますが、具体的な内容、制作過程は大凧会館 HP 内のお知らせ《2027 年祝新成人大凧「銘々が繋がる」の制作が始まる。》から見ていただく事が可能です。また、大凧会館公式 Instagram ではよりわかりやすくお届けできるよう「リール」でもまとめています。是非チェックしてみてくださいね。

最後になりましたが、大凧制作は 12 月５日（土）に「願い札貼り」が行われ完成を迎える予定で、令和９年１月 10 日（日）の東近江市成人式のあと、聖徳中学校グラウンドで飛揚予定です。新春凧揚げ大会も行われますので、皆さまのお越しをお待ちしております！


紙継ぎ


紙巻き


墨打ち


下絵


朱墨


色付け


骨組


合体

令和９年・羊年の年賀状はこれで決まり！

＝【東近江大凧スタンプ】が登場！＝


島居

早いもので今年も 11 月下旬、残すところあと１か月ほどとなりました。カレンダーの残り枚数も少なくなり、お正月に向けて急にあわただしくなってきましたね。最近は送る機会が少なくなった年賀状ですが、皆さんは今年どうされますか？



東近江大凧会館では、来年の干支「羊」を描いた凧絵スタンプをご用意いたしました。11 月下旬より館内に設置いたしますので、新年のごあいさつにぜひご活用ください。



スタンプのサイズは縦８cm×横 6.5cm で、押印は無料です。設置期間は 12 月 25 日（金）までとなっておりますので、水曜日、第４火曜日の休館日を除き、開館時間（午前９時～午後５時）内にお気軽にお越しください。

なお、同じイラストは大凧会館のホームページからもダウンロードいただけます。

新春の準備を、大凧会館の年賀状スタンプから始めてみませんか？

＝体験教室参加者募集中＝



今年は秋の期間が少なくすぐに冬がやってきましたといった感じですね。さて、大凧会館では、年末年始にかけて、「サンタクロースの凧作り」、「羊（来年の干支）の凧作り」、「春日部張り子の絵付け（羊）」の体験教室が募集中です。

【親子凧作り教室～空飛ぶｻﾝﾀｸﾛｰｽの凧を作ろう～】

- 開催日時　令和８年 12 月 12 日（土）
  9:30～12:00
- 定員　15 人　参加費：1,000 円
- 対象　５歳から小学生まで　※保護者同伴

【親子凧作り教室～羊の絵をかいて大空に揚げよう～】

- 開催日　令和８年 12 月 20 日（日）
  9:30～12:00
- 定員　15 人　・参加費：800 円
- 対象　５歳から小学生まで　※保護者同伴

【羊の張り子絵付け教室】

- 開催日時：令和９年１月 11 日（月・祝）
  ~~１回目　10:00～11:30~~　募集終了
  ２回目　13:30～15:00
- 定員　各回 15 人　参加費：1,800 円
- 対象　小学生から大人まで　※小学生は保護者同伴

申込方法

東近江大凧会館サイトのオンラインシステム申込サイトもしくは電話から申込んでください。
先着順となります。
https://p-gakushu.jp/oodakokaikan
電話　0748-23-0081

新春特別企画 羊の凧と郷土玩具展



東近江大凧会館では、新年の幕開けを飾る恒例の特別展として、令和９年の干支である「羊」をテーマとした「新春特別企画 羊の凧と郷土玩具展」を、12 月 12 日（土）から令和９年１月 17 日（日）まで開催いたします。会場には、羊の絵柄はもちろん、ひょうたん型などのユニークな形の凧も並び、ほっこりとした羊の笑顔が新春の華やぎを演出します。また、全国各地の土人形や張り子など、素朴で温かみのある「羊」の郷土玩具も展示いたします。



期間中にご来館いただいた先着 100 名様には、「羊」の図柄を模したミニ干支凧をプレゼントいたします。新しい年の始まりに、全国各地の伝統文化に触れにぜひお越しください。

＝２０２６年 12 月の予定＝

１日（火）　箕作小学校６年生　２畳敷大凧揚げ
３日（木）　八日市南小学校６年生　２畳敷大凧揚げ
４日（金）～９日（水）　八日市文化協会展
５日（土）　チャレンジ”大凧　まとめ
５日（土）　2027 年祝新成人 20 畳敷東近江大凧完成予定日
８日（火）　石部小学校１年生　見学と凧作り
１０日（木）　東近江市地域振興事業団　人権研修
１１日（金）　東近江市地域振興事業団　人権研修
１１日（金）　布引小学校６年生　２畳敷大凧制作　骨組と合体作業
１１日（金）　八日市南小学校３年生　親子活動　凧作り体験
１２日（土）～１月１７日（日）
　新春特別企画　羊の凧と郷土玩具展
１２日（土）　親子凧作り教室～空飛ぶｻﾝﾀｸﾛｰｽの凧を作ろう～
１３日（日）　～羊（ひつじ）の凧絵～ガリ版年賀状作り
１４日（月）　市原小学校４年生　大凧の学習
１６日（水）　大凧会館職員　普通救命講習
１９日（土）　御園コミュニティデンター　凧作り
２０日（日）　親子凧作り教室～羊の絵をかいて大空に揚げよう～
２０日（日）　家族ふれあいサンデー

12 月休館日：12/2・12/9・12/16・12/22・12/23
年末年始休館　12/28～1/2

＝チャレンジ“大凧”大空に舞う＝

８畳敷東近江大凧「熊本の復旧を願う」





11 月 14 日（土）、今年で 18 回目となる「東近江大凧伝承プロジェクト チャレンジ”大凧”」の大凧揚げを開催しました。



今年度、このプロジェクトに参加した子どもたちは 10 人。限られた人数ながらも、一人ひとりが役割を果たし、仲間と声を掛け合いながら、縦 3.75m×横 3.4m にもなる「8 畳敷き大凧」の制作に一生懸命取り組んできました。

迎えた大凧揚げ当日は、ほとんど無風という非常に厳しいコンディションとなりました。風がない飛揚は難しい中、子どもたちと関係者の熱い想いが天に通じたのか、一瞬の風をとらえ、大凧は力強く風をとらえ、約 15m の高さまで見事に舞い上がりました。

今年の絵柄は、復旧への祈りを込めた複数の鳩と「くまモン」、そして「願」の文字を組み合わせたデザインで、『熊本の復旧（複数の鳩）を願う』というメッセージが、秋空いっぱいに大きく羽ばたきました。

制作から当日の大凧揚げまで全力で駆け抜けた子どもたち、そして温かく見守りご協力いただいた皆様、本当にお疲れ様でした。

残る活動は、12 月５日に行う「活動のまとめ」と、来年１月 10 日の飛揚です。１月 10 日には、新成人を祝って揚げられる「20 畳敷大凧」とともに、再び大空へ舞い揚げる予定です。新春の飛揚にも、ぜひご期待ください！

＝近江だるま絵付け教室＝



11 月１日（日）10 時から『近江だるま絵付け教室』を開催し、１４名の方にご参加いただきました。近江だるまは、滋賀県東近江市に伝わる張り子の郷土玩具です。旧能登川町佐野で大正時代初期に、画商の寺井大門さんが制作を始め、当時縁起物として親しまれていたそうです。一時廃絶しましたが、地元有志が郷土玩具として魅力ある近江だるまを未来に継承しようと、平成９年に近江だるま保存会を発足され活動されています。今回の教室も、近江だるま保存会の皆さんに教えていただきました。



最初に、近江だるまについての VTR を観ていただき、その後絵付けの順序や、注意点を教えていただきます。顔の型紙にそって、顔の下書きを鉛筆で描きます。下絵が完成したら、いよいよ絵付けスタートです。一色塗り終えるごとに、ドライヤーで乾かす繊細な作業です。筆を使い、細い線を描くのはなかなか難しく、皆さん集中して作業を進めておられました。

参加いただいた方々からは「近江だるまには興味があり、自分で作れたのが楽しかった」「とても貴重な体験をさせていただきました。ずっと後世に残るとよいなと思いました」「あっという間の楽しい時間でした、ありがとうございました」など貴重なご意見をいただきました。参加いただいた顔ぶれも、小学生から７０歳代、市内外からと幅広くお楽しみいただきました。

皆様、だるまの縁起にあやかり、良い年が迎えられますようお祈りいたします。